

図書だより



菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

泗水図書館 ☎0968(38)6866 [休館日]月曜日・月末・祝日
中央公民館図書室 ☎0968(25)1672 [休館日]火曜日・第1日曜日・祝日
七城公民館図書室 ☎0968(25)1580 [休館日]日曜日・祝日
旭志公民館図書室 ☎0968(37)3111 [休館日]日曜日・祝日



司書のつぶやき
草花が芽吹く季節になりました。
by コスモス

話題の図書

お薦め!



これはすいへいせん

谷川俊太郎 文
tupera tupera え
(金の星社)

詩人 谷川俊太郎とイラストや
工作などを手掛けるユニット

「tupera tupera」の初コラボレーション絵本。ページ
をめくると、次の文がつながる言葉遊びの絵本です。
(所蔵：泗水図書館、七城公民館図書室)

新着

お薦め

今月の新着 & お薦め図書

泗水図書館
獅子 池波正太郎 著
クラウドガール 金原ひとみ 著
幼年の色、人生の色 長田 弘 著
笑って、泣いて、考えて。永六輔の尽きない話 さだまさし 著
天国に行きたかったヒットマン ヨナス・ヨナソン 著
保育園で困ったときに開く本 朝日新聞出版 編著
GET UP! 座りっぱなしが死を招く ジェイムズ・A.レヴィン 著
円周率の謎を追う 鳴海 風 著
スピニー通りのヒミツの絵 L.M.フィッツジェラルド 著
パンタロンとケーキやさん レナード・ワイスガード 絵

七城公民館図書室
もっとつくおき nozomi 著
あおなり道場始末 葉室 麟 著
また、桜の国で 須賀しのぶ 著
ウメ・モモ・サクラ 赤木かん子 作、藤井英美 写真
だるまちゃんとおうち 加古里子 さく・え
これはすいへいせん 谷川俊太郎 文、tupera tupera え

旭志公民館図書室
三鬼 三島屋変調百物語四之続 宮部みゆき 著
山猫珈琲 上巻 湊かなえ 著
おかんメール 6 『おかんメール』製作委員会 編
弁護士は見た!職場の労働トラブル 藤池尚恵 著
おすしのずかん 大森裕子 作
ほしじいたけ ほしばあたけ 石川基子 作
ネジマキ草と銅の城 パウル・ビーヘル 作

中央公民館図書室は新館移転作業に伴い、2月14日(火)から閉室しています。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

図書館(室)展示情報

桜のメッセージ絵本を展示中!

ことしも世界に1つだけの絵本が出来上がりました。泗水図書館、旭志公民館図書室、七城公民館図書室で3月26日(日)まで展示しています。ぜひ見に来てください。



図書館(室)Q&A

～図書館(室)内での撮影～



図書館(室)内で本をスマートフォンで撮影していたら注意されました。どうしてですか?

館内での撮影は原則お断りしています。それは、他の利用者への迷惑(シャッター音、写り込み、盗撮など)になることと、何を撮影されたか把握できないためです。複写を希望する人はコピーサービス(有料)をご利用ください(泗水図書館のみ)。ご理解とご協力をよろしくお願いします。詳しくは職員にお尋ねください。



マナーを守って
楽しい
図書館(室)!



図書館(室)からのお願い

住所・氏名・電話番号が変わったときは 図書館(室)で手続きが必要です!

用意するもの

・図書館利用カード ・新しい住所などが確認できるもの

※転出の場合で市内に通勤・通学していないときは、図書館利用カードを返却してください。

文芸きくち



万句の里俳句会 1月句会

年毎に小さくなりし鏡餅
寒雀細き小枝に弾みおり
寒林の風に遠慮のなかりけり
朝刊の重たき門戸初明り
寒禽の声の集まる一樹かな

稲田 鈴子
宮本 敏子
光本とよいち
小山 照子
田中 美智

せせらぎ俳句会 1月例会

九十三歳嬉しくさびしき除夜の鐘
初日出づ阿蘇連山の尾根割りて
さんぷりと浸れば心持初湯かな
埋まる如入れて我が家の柚湯かな
学童の吐く息凍る橋の上

服部 静子
藤本 邦治
五丁 義昭
藤本アツ子
森 正子

旭志文芸教室俳句の会 1月詠草

修復の墓地にクレーンや時雨来る
霜柱台地の汚れ浄めけり
故郷や美女の寝姿雪帽子
嫗逝く労わる日々や古日記

水谷 ミネ
芹川のり子
中尾ヨシコ
芹川 蓉子

肥後狂句水笑会 1月例会

ほろ酔い気嫌 お宮参りも千鳥足
お雑煮 急ぐとのどにうつつ詰まる
頑張って 今年は名句つくります
福袋 他にや買わんできやあ戻り
お雑煮 一段増えて二段腹

中島 五女
小崎 海美
御手洗三代
井手 水光
山隈 好茶

七城短歌会 1月詠草

裏庭に日差しとどきて金柑の実と柚子の実が黄花とも見ゆ
初春の宮居は詣りの人ばかり心機一転我とて同じ
加速して砂利満載のダンブ過ぐ歩道の我の耳を劈く
留守の間にドアの取り手に誰が吊す真つ赤な梅干し我を待ちいし
雨風に一度は倒れし皇帝ダリヤ軒先高々花咲かすなり

緒方 寛子
緒方 正俊
高木 精
池田カツ子
嶋田 晴美

「里」短歌会 1月詠草

ほおづえを着きて見上ぐるカーテンのレース透かして初雪の降る
教会のオルガンの音しみ入りにて冬の木椅子のあたたかきかな
遠浅の泡立つ海水地の色に寄せては返し沖へ沖へと
清正公の掘りたる井戸はわが心映せるほどに清く澄みをり
本読むもサッカー競うも友得るも総て嬉しげ中一の孫は

前原 ゆみ
安見 朱實
梶原美智代
岩本サヨ子
宮本 叔子

さわやか大学文芸クラブ 1月歌会

玲瓏と天に限なき鞍岳の初冠雪に心鎮めむ
山峡の夜明けを告ぐる鶏の声鶏冠ふりふり笥ひびかす
正月の日も慌ただし若きは吾はゆるりと老いを楽しむ
寒き朝肩腰ひざと痛みあり温き部屋にてマッサージ受く
コリウスの葉の緑して光放つ小春日の庭黄蝶も和むか

中川 愛子
岩木タエ子
山城 雅子
安東 綾子
川口 敦子

菊池短歌会 2月詠草

またひとつ村の空家が毀されて月光くまなく黒土に染む
鳥インフル十一万余羽の殺処分鶏の目は何を伝へる
散り急ぎ時雨るる夕べ深紅葉睦月の里の住家しづもる
焼き餅のふくれふくれゆく状は突っ張っていた頃のわたくし
隠り世の奏者なるべし簞の幽に響もす管のひびきは

岩永 典子
古賀 勝士
中川 愛子
林 まつ子
怒留湯健蓉